

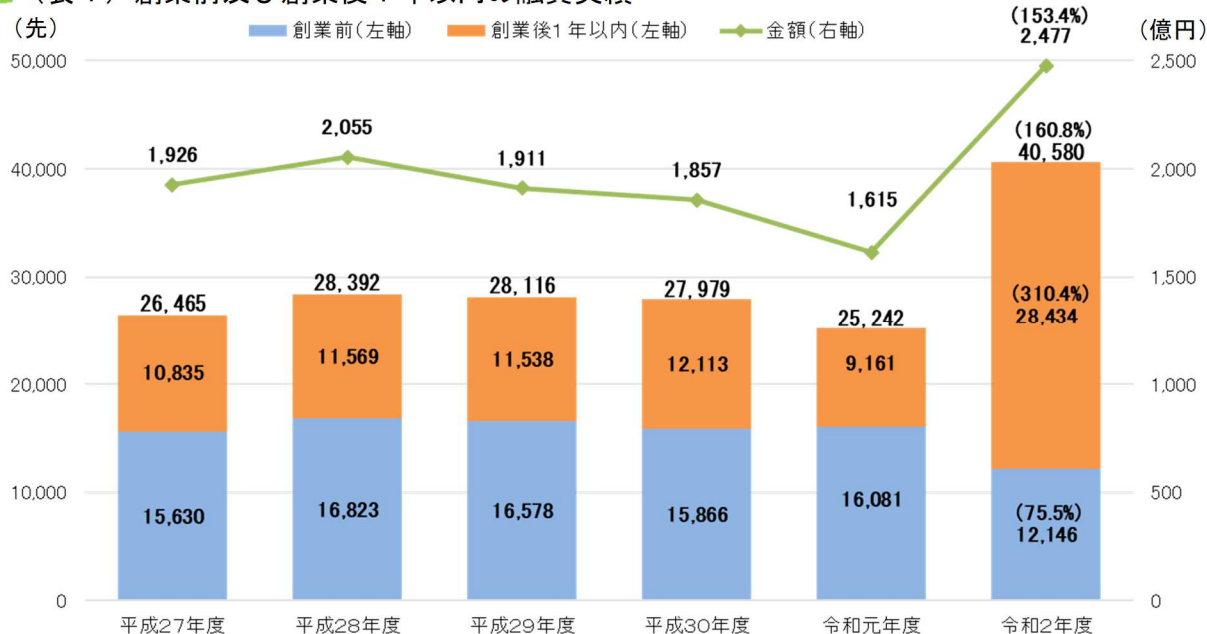
2021年5月14日
株式会社日本政策金融公庫

創業融資 令和2年度実績 40,580 先 2,477 億円

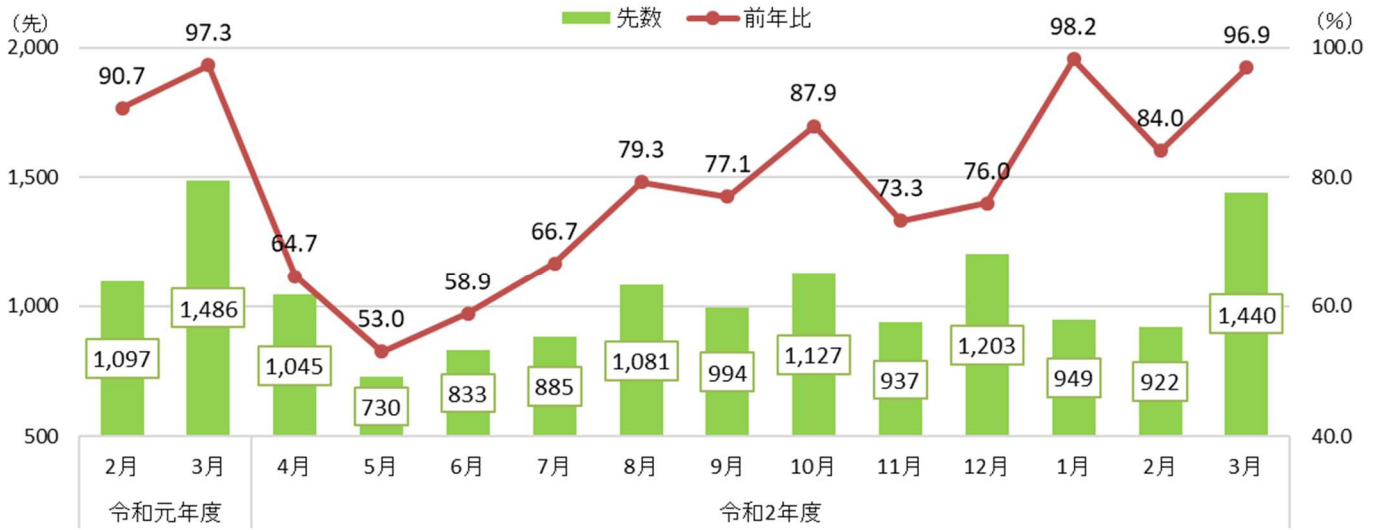
～「創業前」融資は、令和2年6月以降回復基調に～

- 日本政策金融公庫（略称：日本公庫）国民生活事業の令和2年度の創業融資実績（創業前及び創業後1年以内）は40,580先（前年度比160.8%）、2,477億円（同153.4%）となりました（表1）。
- 先数の内訳を見ると、「創業前」融資が前年度比75.5%と減少する一方で、「創業後1年以内」融資が前年度比310.4%と大幅に増加し、実績全体が増加しています。
- これは、コロナ禍が長期化の様相を見せる中で、創業準備者の多くが創業計画の見直しや延期を余儀なくされた一方で、コロナ禍以前に創業した事業者は、経営環境の変化により事業が軌道に乗るまでの期間が長期化し、資金需要が高まったことが一因として考えられます。
- また、「創業前」融資先数は令和2年5月をボトムに、回復基調を見せています（表2）。背景として、コロナ禍における働き方に対する意識変化や、リモートワークの浸透等で、創業への関心が高まってきていることが考えられます。中には、「地方に移住しての創業」や、「コロナをビジネスチャンスととらえた新しいサービスによる創業」等、特徴的な創業事例も出てきています。
- 「創業前」融資先数を業種別に見ると、「小売業」や「サービス業」は、令和3年1月以降、対前年比で100%程度の水準まで回復してきていますが、コロナの影響が大きい「飲食店、宿泊業」の戻りは鈍く、これらの業種が従前の水準まで回復するには、まだ時間を要すると考えられます（表3、4）。
- 日本公庫では、引き続き創業者の資金需要に着実に対応していくとともに、オンラインセミナーの開催や、オンライン相談サービスの開始等により、創業希望者への情報提供や、コロナ禍に創業した方々の事業を軌道に乗せていくための創業後の支援にも積極的に取り組んでいきます。

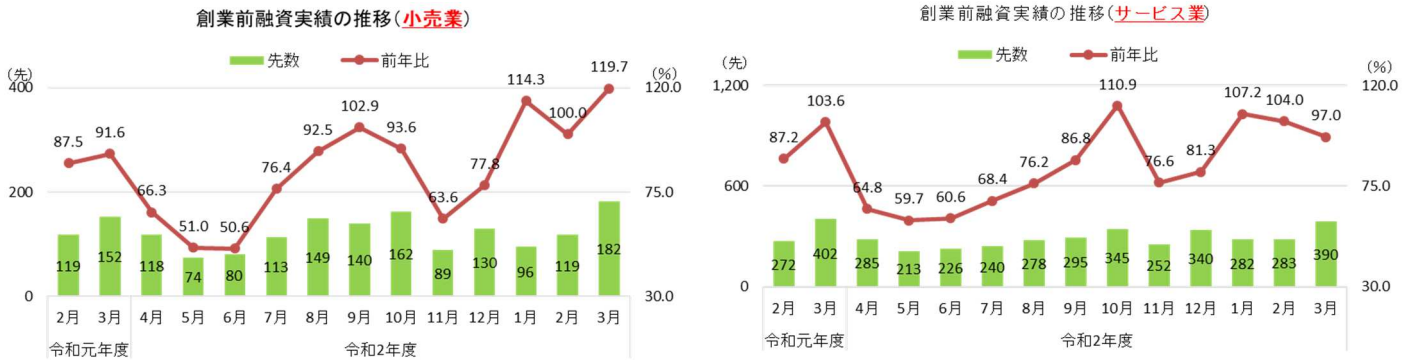
■（表1）創業前及び創業後1年以内の融資実績



■ (表2) 創業前融資実績の月別推移



■ (表3) 小売業、サービス業向け融資実績の月別推移



■ (表4) 飲食店、宿泊業向け融資実績の月別推移

